

「観光先進国」へ、2024年を始動の年に

新年明けましておめでとうございます。日付の流れは年々早くなっていると思われていますが、コロナが始まってからの数年間は例外でした。今振り返ってみても大変長く苦しい道のりです。もう二度とこんな思いはしたくないというのが本音です。

自然災害や疫病は、私たちの都合などお構いなしに猛威を振ります。2023年は、コロナ禍での経験を教訓に変え、不測の事態への備えを進めてきた1年間でした。

その目玉といえるのが、昨年9月に仙台市秋保温泉で開催された「宿泊業界の観光と金融」に関する全国懇談会です。関係者や金融機関の皆さま、そして私たち宿泊事業者が膝を突き合わせて宿泊業界の現状と未来について語り合いました。大変有意義な懇談会となりました。

インバウンドはコロナ前の水準に戻りつつありますが、地域や業種で大きな格差も生まれてきています。地方への誘客拡大など、この課題の克服



新年明けましておめでとうございます。この数年間で抱えた大変な負債の返済に業界の将来がかかっています。息の長い支援がぜひとも必要です。われわれの現状を関係者所に訴えるために、全国各さまざまな場所で金融機関などとの交流の場を持つことが必要であると考え、本年は九州にて全国懇談会を開催する予定と致しております。

そして、この数年間で抱えた大変な負債の返済に業界の将来がかかっています。息の長い支援がぜひとも必要です。われわれの現状を関係者所に訴えるために、全国各さまざまな場所で金融機関などとの交流の場を持つことが必要であると考え、本年は九州にて全国懇談会を開催する予定と致しております。

日本旅館協会会長 大西雅之 夢あふれる1年に

服が今年の重要なテーマと考えています。そして、この数年間で抱えた大変な負債の返済に業界の将来がかかっています。息の長い支援がぜひとも必要です。われわれの現状を関係者所に訴えるために、全国各さまざまな場所で金融機関などとの交流の場を持つことが必要であると考え、本年は九州にて全国懇談会を開催する予定と致しております。

日本政府観光局(JNTO)理事長 蒲生篤実

インバウンド観光、飛躍の年へ

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。昨年、4月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が撤廃され、まさにインバウンド観光が再スタートの年です。外客数は右肩上がりでの急回復を遂げ、昨年10月には約25



1万人を記録し、コロナ感染拡大後初めて2019年同月比100%を回復しました。昨年9月には、観光回復基本計画(第4次)が策定され、今後のインバウンド観光の方向性として、三つの柱「持続可能な観光」「消費額と捉え、全国の魅力を海外に拡大」「地方誘客推進」が示されることになりました。地方部宿泊数などについて新たな政府目標が掲げられました。

2024年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。昨年、4月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が撤廃され、まさにインバウンド観光が再スタートの年です。外客数は右肩上がりでの急回復を遂げ、昨年10月には約25

全日本ホテル連盟は、昨年1年遅れではありましたが50周年を迎えました。その50周年を記念して、連盟の名称を変更し、会の理念である「MISSION」を策定し、地域活性化のため「タウニティ」を毎年度行っています。これは長期の企画です。また、2024年は50周年を記念して、会長



全日本ホテル連盟は、昨年1年遅れではありましたが50周年を迎えました。その50周年を記念して、連盟の名称を変更し、会の理念である「MISSION」を策定し、地域活性化のため「タウニティ」を毎年度行っています。これは長期の企画です。また、2024年は50周年を記念して、会長

50周年から2年目を迎えて、わけて、クレジットカード手数料の引き下げにも業界全体で力を合わせて取り組まなくてはなりません。引き続き委員会を立ち上げ、関係者との連携を強化してまいります。

国際観光日本レストラン協会会長 安田真一

世界の平和と安全を願う。明けましておめでとうございます。なぜかあつという間に、1年が過ぎ、新年を迎えました。日本はかつて円安で、海外からの観光客が激増し、百貨店が空前の売上げを更新してまいりました。観光地ではオリーブリースという話も聞かれます。コロナ禍で閉鎖されたホテルや旅館、料理店などについて、野村萬蔵さんや、野村萬蔵さんご自身も、お話を伺っています。

2024年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。昨年、4月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が撤廃され、まさにインバウンド観光が再スタートの年です。外客数は右肩上がりでの急回復を遂げ、昨年10月には約25

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会会長 井上善博

明るい未来をつかみ取る。さて、私は旅館協会会長に就任してまいりました。わが国の地域を「持続可能な地域」にしていくためには、観光産業を軸とした地方創生の実現が不可欠です。観光産業を軸とした地方創生の実現が不可欠です。観光産業を軸とした地方創生の実現が不可欠です。

全日本ホテル連盟は、昨年1年遅れではありましたが50周年を迎えました。その50周年を記念して、連盟の名称を変更し、会の理念である「MISSION」を策定し、地域活性化のため「タウニティ」を毎年度行っています。これは長期の企画です。また、2024年は50周年を記念して、会長

新年 謹賀

令和六年 賀正

<p>代表取締役 山口昇一郎</p> <p>TEL 0954-411-3335</p>	<p>代表取締役 朝野 泰昌</p> <p>TEL 0979-921-0000</p>	<p>代表取締役 沼田 久博</p> <p>TEL 0979-43-0634</p>	<p>代表取締役 今岡 稔</p> <p>TEL 099-0201</p>	<p>代表取締役 長谷川 浩司</p> <p>TEL 0852-62-0111</p>	<p>代表取締役 樫本文昭</p> <p>TEL 079-921-0000</p>
<p>代表取締役 湯通堂 温</p> <p>TEL 099-222-2255</p>	<p>代表取締役 谷口 栄司</p> <p>TEL 088-318-7111</p>	<p>代表取締役 齋藤 正巳</p> <p>TEL 0599-222-0666</p>	<p>代表取締役 奥村昌信</p> <p>TEL 077-111-1111</p>	<p>代表取締役 田中 雄一郎</p> <p>TEL 0596-44-1050</p>	<p>代表取締役 松園 保津川亭</p> <p>TEL 077-111-1111</p>